



2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社グリーンズ 上場取引所 東 名
コード番号 6547 URL <https://www.kk-greens.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）村木 雄哉
問合せ先責任者 （役職名）専務取締役 （氏名）清水 謙二 TEL 059(351)5593
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績（2025年7月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年6月期第1四半期	13,520	13.0	2,362	45.9	2,364	49.3	1,558	△0.6
2025年6月期第1四半期	11,969	19.3	1,619	0.9	1,583	2.2	1,568	2.2

（注）包括利益 2026年6月期第1四半期 1,579百万円（1.6％） 2025年6月期第1四半期 1,554百万円（0.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	112.02	—
2025年6月期第1四半期	110.16	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年6月期第1四半期	30,383	11,196	36.8
2025年6月期	29,405	10,177	34.6

（参考）自己資本 2026年6月期第1四半期 11,196百万円 2025年6月期 10,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2026年6月期	—				
2026年6月期（予想）		0.00	—	40.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	53,200	7.2	6,500	3.1	6,400	9.5	3,600	△31.6	254.69

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、四半期決算短信（添付資料）７ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期1Q	13,878,263株	2025年6月期	13,878,263株
② 期末自己株式数	2026年6月期1Q	148,869株	2025年6月期	148,869株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期1Q	13,729,394株	2025年6月期1Q	13,868,420株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考) 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A 種優先株式	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025 年 6 月期	0.00	0.00	0.00	40,000.00	40,000.00
2026 年 6 月期	0.00				
2026 年 6 月期 (予想)		0.00	0.00	40,000.00	40,000.00

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2025年7月1日から2025年9月30日まで）における我が国経済は、賃上げの進展による雇用・所得環境の改善や個人消費の持ち直しを背景に、緩やかな回復基調が継続しました。一方で、地政学的リスクの高まりや米国の通商政策など国際情勢の動向に加え、国内における物価上昇の継続や政局の変化などが影響し、景気の先行きには不透明感が残る状況となりました。

ホテル業界においては、官公庁が2025年10月31日に公表した最新の宿泊旅行統計調査（2025年8月第2次速報、2025年9月第1次速報）によると、2025年8月の延べ宿泊者数は6,598万人泊（前年同月比0.4%減）、9月は5,499万人泊（前年同月比0.2%減）となり、いずれも前年並みの水準を維持しました。日本人宿泊者数は緩やかな減少傾向が続いているものの、外国人宿泊者数の増加が継続しており、インバウンド需要は依然として高水準で推移しています。これにより、ホテル業界全体としては安定した需要環境が継続しています。

このような事業環境のもと、当社運営ホテルでは、各店舗が立地する地域における宿泊需要の変化に応じたレベニューマネジメントにより、売上の最大化に取り組みました。国内レジャー及び旺盛なインバウンドの宿泊需要を確実に獲得したことで、客室稼働率は80%前後で推移し、客室単価はすべての月において前年同月を上回る結果となりました。

当社グループにおいて宿泊特化型ホテルを中心に全国で展開している「チョイスブランド」では、販売施策として、需要に応じたレベニューマネジメントの強化や、レジャー・インバウンド需要の獲得に取り組みました。さらに販促活動として、レジャー向けブランドである「コンフォートホテルERA」及び「Ascend Hotel CollectionTM」の認知度向上を図る施策等を推進しました。インバウンド需要に関しては、災害発生に関する根拠のない情報の拡散により、アジアの一部地域において訪日旅行を取りやめる動きが見られたものの、販売施策による成果に加え、前年同期と比べて台風などの天災による宿泊需要への影響が少なかったことも追い風となり、客室稼働率は前年同期比2.5ポイント増の82.2%、客室単価は前年同期比3.9%増の10,761円となりました。また、さらなるブランド展開に向けた出店戦略として、前期には「コンフォートイン」22店舗のリブランド開業、「コンフォートホテルERA」2店舗のリブランド、「コンフォートホテル紀伊田辺」（和歌山県田辺市）の新築開業を実現しました。これらの新規店舗・リブランド店舗の増収および収益性の向上への寄与に加え、既存店舗においても客室単価の向上により増収を達成したことで、売上高は前年同期比13.3%増の11,775百万円、営業利益は前年同期比29.1%増の2,643百万円となりました。

三重県・東海地方を中心に地域特性に合わせて宴会場等を併設したシティホテルや宿泊特化型ホテルを展開している「オリジナルブランド」及び「その他事業」では、その地域やホテルの特性を活かした販売施策や企画に取り組みました。売上向上に向けた施策としては、外食店舗、集会店舗の販売経路拡大に加え、各店舗の地域特性や顧客動向に応じたレベニューマネジメントを推進し、客室単価の向上を図りました。その結果、客室稼働率は前年同期比4.2ポイント増の77.0%、客室単価は前年同期比8.7%増の7,808円となりました。2024年9月9日をもって松阪シティホテル（三重県松阪市）を閉店した影響はあったものの、既存店舗における客室単価の向上により売上高が増加し、売上高は前年同期比10.6%増の1,745百万円、営業利益は前年同期比74.8%増の278百万円となりました。

なお、当社グループ全体の客室稼働率は前年同期比2.8ポイント増の81.4%、客室単価は前年同期比4.6%増の10,331円、ホテル軒数は118店舗、客室数はチョイスブランド14,127室、オリジナルブランド2,565室の合計16,692室となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高13,520百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益2,362百万円（前年同期比45.9%増）、経常利益2,364百万円（前年同期比49.3%増）となりました。一方で、繰越欠損金が当期に解消される見込みであることから、法人税等の計上を行った影響により、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,558百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

（注）文中記載の客室稼働率ならびに客室単価は、当第1四半期連結累計期間における数値となります。月別の数値に関しましては当社ホームページに掲載しております。

株式会社グリーンズ <https://www.kk-greens.jp/>

＜販売実績＞

当第1四半期連結会計期間の販売実績は次のとおりであります。なお、当社グループはホテル事業の単一セグメントであるため、ブランド別に記載しております。

ブランド及び事業の名称	当第1四半期連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)	前年同期比 (%)
チョイスブランド (百万円)	11,775	113.3
オリジナルブランド及びその他の事業 (百万円)	1,745	110.6
合 計 (百万円)	13,520	113.0

- (注) 1. 事業部門間の取引については相殺消去しております。
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、当該割合が100分の10以上の相手先がないため、記載を省略しております。
3. 前期において数値の比較性を保つために、「チョイスブランドRS」のブランド別の詳細数値を記載しておりましたが、ホテル数の増加の影響も軽微となったため、今期よりブランド別の詳細数値の記載を省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては30,383百万円となり、前連結会計年度末29,405百万円に比べ、977百万円増加いたしました。

うち流動資産は、14,413百万円（前連結会計年度末14,322百万円）と、90百万円増加いたしました。これは主に売掛金の増加によるものであります。

固定資産は、15,970百万円（同15,083百万円）と、886百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物等の有形固定資産の増加によるものであります。

負債につきましては、19,187百万円（同19,228百万円）と、41百万円減少いたしました。

うち流動負債は8,307百万円（同7,831百万円）と、476百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等の増加によるものであります。

固定負債は10,879百万円（同11,397百万円）と、517百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少によるものであります。

純資産につきましては11,196百万円（同10,177百万円）と、1,019百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は36.8%（前連結会計年度末は34.6%）となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,013	9,750
売掛金	3,064	3,334
原材料及び貯蔵品	144	140
前払費用	1,022	1,132
その他	81	57
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	14,322	14,413
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,556	5,405
工具、器具及び備品（純額）	468	462
土地	1,820	1,913
リース資産（純額）	281	264
建設仮勘定	2	—
有形固定資産合計	7,130	8,044
無形固定資産	192	211
投資その他の資産		
投資有価証券	121	154
差入保証金	6,001	5,953
その他	1,657	1,623
貸倒引当金	△19	△18
投資その他の資産合計	7,760	7,714
固定資産合計	15,083	15,970
資産合計	29,405	30,383

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,449	1,625
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000
未払金	1,407	1,239
未払費用	2,050	1,476
未払法人税等	18	806
未払消費税等	454	437
賞与引当金	—	238
その他	451	483
流動負債合計	7,831	8,307
固定負債		
長期借入金	10,232	9,732
資産除去債務	636	638
その他	527	507
固定負債合計	11,397	10,879
負債合計	19,228	19,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
利益剰余金	10,404	11,401
自己株式	△355	△355
株主資本合計	10,148	11,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28	50
その他の包括利益累計額合計	28	50
純資産合計	10,177	11,196
負債純資産合計	29,405	30,383

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）
売上高	11,969	13,520
売上原価	7,847	8,611
売上総利益	4,122	4,909
販売費及び一般管理費	2,502	2,546
営業利益	1,619	2,362
営業外収益		
受取利息	0	10
違約金収入	26	7
その他	15	19
営業外収益合計	42	37
営業外費用		
支払利息	78	36
その他	0	—
営業外費用合計	78	36
経常利益	1,583	2,364
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	1,583	2,364
法人税等	15	806
四半期純利益	1,568	1,558
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,568	1,558

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）
四半期純利益	1,568	1,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	21
その他の包括利益合計	△13	21
四半期包括利益	1,554	1,579
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,554	1,579

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、ホテル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	140百万円	152百万円